

臨床医学各論 神経疾患 キーワード：脳梗塞（脳血栓/脳塞栓）P.236

一過性脳虚血発作 P.239

はき 1-81 脳血管障害で誤っているのはどれか。

1. くも膜下出血は低血圧の人多い。
2. 脳塞栓症は心臓疾患の人多い。
3. 脳血栓症は脳梗塞の原因となる。
4. 左側の脳血管障害は失語症を伴うことが多い。

はき 3-85 脳血管障害について正しい記述はどれか。

1. 一過性脳虚血発作は麻痺を残さない。
2. くも膜下出血は慢性に発症する。
3. 脳梗塞は若年者が多い。
4. 脳血栓は過激な体動時に多い。

はき 4-81 脳梗塞を起こしやすい不整脈はどれか。

1. 心房細動
2. 心室細動
3. 期外収縮
4. 房室ブロック

はき 6-85 脳梗塞の症候でみられないのはどれか。

1. 片麻痺
2. 頸部硬直
3. 失語症
4. 感覚障害

はき 9-74 心房細動に合併しやすい脳血管障害はどれか。

1. 脳血栓症
2. 脳塞栓症
3. 脳出血
4. くも膜下出血

はき 16-79 「72歳の男性。以前より発作性心房細動を指摘されていた。事務作業中に倒れたが、呼びかけには何とか返答できた。右上下肢は全く動かず、頭痛、嘔吐はなかった。」最も考えられるのはどれか。

1. クモ膜下出血
2. 脳血栓
3. 脳塞栓
4. 一過性脳虚血発作

はき 9-74 心房細動に合併しやすい脳血管障害はどれか。

1. 脳血栓症
2. **脳塞栓症**
3. 脳出血
4. くも膜下出血

はき 28-79 「60歳の男性。高血圧にて内服加療中。2日前から 38°Cの発熱、昨日から嘔吐と頭部全体の痛みがある。意識レベルは J C S で I-1、血圧は 178/90 mmHg である。」最も考えられる疾患はどれか。

1. 高血圧性脳症
2. **髄膜炎**
3. 群発頭痛
4. 小脳出血

はき 30-55 高血圧性脳出血が最も好発する部位はどれか。

1. **被殻**
2. 視床
3. 橋
4. 前頭野

(ウイルス性/細菌性/結核性/真菌性)

はき 9-73 疾患と症状との組合せで正しいのはどれか。

1. 単純ヘルペス脳炎 — 側頭葉症状
2. ポリオ — 痙性单麻痺
3. 脊髄癆 — 膝蓋腱反射亢進
4. 髄膜炎 — ロンベルグ徵候

はき 11-85 細菌性髄膜炎の髄液検査所見で正しいのはどれか。

1. 細胞数減少
2. 蛋白低下
3. 糖低下
4. 髄液圧下降

はき 28-79 「60歳の男性。高血圧にて内服加療中。2日前から 38°Cの発熱、昨日から嘔吐と頭部全体の痛みがある。意識レベルは J C S で I-1、血圧は 178/90mmHg である。」最も考えられる疾患はどれか。

1. 高血圧性脳症
2. 髄膜炎
3. 群発頭痛
4. 小脳出血

はき 3-70 僧帽弁狭窄症について正しい記述はどれか。

1. 梅毒によるものが多い。
2. 肺うつ血を生じることは少ない。
3. 心房細動を起こしやすい。
4. 左心室の拡張を伴う。

はき 9-82 性行為感染症でないのはどれか。

1. 梅毒
2. 副睾丸結核
3. クラミジア感染症
4. 淋病

はき 26-65 感染症について正しいのはどれか。

1. インフルエンザウィルス感染は迅速な検査が可能である。
2. 麻疹は「三日はしか」と言われている。
3. 帯状疱疹は単純ヘルペスウィルスによる感染である。
4. 梅毒はクラミジアによる感染である。

はき 9-73 疾患と症状との組合せで正しいのはどれか。

1. 単純ヘルペス脳炎 — 側頭葉症状
2. ポリオ — 痙性单麻痺
3. 脊髄癆 — 膝蓋腱反射亢進
4. 髄膜炎 — ロンベルグ徵候

はき 12-86 疾患と病変部位との組合せで誤っているのはどれか。

1. 筋萎縮性側索硬化症 — 脊髄前角
2. ポリオ — 脳幹網様体
3. 重症筋無力症 — 神経筋接合部
4. パーキンソン病 — 中脳黒質

はき 15-75 疾患と病原体との組合せで誤っているのはどれか。

1. 水痘 — 带状疱疹ウイルス
2. 猩紅熱 — A群溶血性連鎖球菌
3. 流行性耳下腺炎 — サイトメガロウイルス
4. 急性灰白髄炎 — ポリオウイルス

(神経膠腫/髄膜腫/下垂体腺腫/神経鞘腫/転移性脳腫瘍)

はき 6-74 神経疾患について正しい組合せはどれか。

1. 脳虚血発作 — 脳圧亢進
2. 脊髄空洞症 — 失語症
3. 進行性麻痺 — 血管けいれん
4. 脳腫瘍 — 乳頭浮腫

はき 13-79 脊髄麻酔で可能な手術はどれか。

1. 脳腫瘍摘出術
2. 甲状腺全摘術
3. 上腕骨骨折骨接合術
4. 虫垂切除術

はき 15-80 「25歳の男性。1年前から飲酒量が増加し、食事回数は減少した。1か月前から下腿浮腫、息切れ、膝蓋腱反射の消失がみられ、今朝から意識消失もみられるようになった。」原因と考えられるのはどれか。

1. ビタミンB₁欠乏
2. ニコチン酸欠乏
3. ウイルス感染
4. 脳腫瘍

はき 3-86 パーキンソン病の症状でないのはどれか。

1. 筋強剛（固縮）
2. 振 戰
3. 無 動
4. 難 聴

はき 4-82 疾患と症状との組合せで誤っているのはどれか。

1. ウィルソン病 — 羽ばたき振戦
2. 脊髄空洞症 — 感覚解離
3. 筋萎縮性側索硬化症 — 筋力低下
4. パーキンソン病 — 視力障害

はき 7-86 神経疾患と症状との組合せで誤っているのはどれか。

1. パーキンソン病 — 無 動
2. 進行性筋ジストロフィー症 — 筋強剛（固縮）
3. 脊髄空洞症 — 感覚解離
4. アテトーゼ — 不随意運動

はき 8-85 感染による中枢神経疾患はどれか。

1. 麻痺性痴呆
2. 脊髄空洞症
3. パーキンソン病
4. 脊髄小脳変性症

はき 11-68 爆発性発語がみられるのはどれか。

1. 重症筋無力症
2. 筋萎縮性側索硬化症
3. オリーブ橋小脳萎縮症
4. パーキンソン病

はき 12-86 疾患と病変部位との組合せで誤っているのはどれか。

1. 筋萎縮性側索硬化症 — 脊髄前角
2. ポリオ — 脳幹網様体
3. 重症筋無力症 — 神経筋接合部
4. パーキンソン病 — 中脳黒質

はき 16-75 パーキンソン病について誤っている記述はどれか。

1. 50～60 歳代で初発する。
2. 手指振戦は通常左右同時に出現する。
3. 進行すると前傾前屈姿勢となる。
4. 種々の自律神経症状がみられる。

はき 17-63 パーキンソン病の振戦が最も起こりやすいのはどれか。

1. **じっとしているとき**
2. 何か物を取ろうとするとき
3. 字を書くとき
4. からだの前で手を保持するとき

はき 18-63 パーキンソン病の非運動症状として適切なのはどれか。

1. 視力障害
2. 失語症
3. **起立性低血圧**
4. 乏尿

はき 24-55 まだら認知症がよくみられるのはどれか。

1. パーキンソン病
2. アルツハイマー型老年認知症
3. ピック病
4. **脳血管性認知症**

臨床医学各論 神経疾患 キーワード : ハンチントン舞踏病 P. 253

はき 8-87 認知症が出現しない疾患はどれか。

1. **小脳橋角部腫瘍**
2. ハンチントン舞踏病
3. アルツハイマー病
4. ウイルソン病

臨床医学各論 神経疾患 キーワード : 脳性小児麻痺 P. 253

臨床医学各論 神経疾患 キーワード : ウイルソン病 (肝レンズ核変性症)

P. 253

はき 4-82 疾患と症状との組合せで誤っているのはどれか。

1. ウィルソン病 — 羽ばたき振戦
2. 脊髄空洞症 — 感覚解離
3. 筋萎縮性側索硬化症 — 筋力低下
4. **パーキンソン病** — 視力障害

はき 6-73 不随意運動のみられない疾患はどれか。

1. 舞踏病
2. ウィルソン病
3. **筋萎縮性側索硬化症**
4. アテトーゼ

はき 8-87 認知症が出現しない疾患はどれか。

1. 小脳橋角部腫瘍
2. ハンチントン舞蹈病
3. アルツハイマー病
4. ウイルソン病

はき 10-78 ウィルソン病でみられないのはどれか。

1. 肝硬変
2. 対麻痺
3. 構音障害
4. 角膜輪

はき 15-65 ウィルソン病でみられないのはどれか。

1. 片麻痺
2. カイザーフライシャー角膜輪
3. 構音障害
4. 肝硬変

臨床医学各論 神経疾患 キーワード : 脊髄小脳変性症 P. 255

はき 8-85 感染による中枢神経疾患はどれか。

1. 麻痺性痴呆
2. 脊髄空洞症
3. パーキンソン病
4. 脊髄小脳変性症

臨床医学各論 神経疾患 キーワード : 脊髄空洞症 P. 256

はき 2-78 脊髄空洞症で障害されない感覚はどれか。

1. 痛 覚
2. 温 覚
3. 觸 覚
4. 冷 覚

はき 4-82 疾患と症状との組合せで誤っているのはどれか。

| | |
|--------------|----------|
| 1. ウィルソン病 | — 羽ばたき振戦 |
| 2. 脊髄空洞症 | — 感覚解離 |
| 3. 筋萎縮性側索硬化症 | — 筋力低下 |
| 4. パーキンソン病 | — 視力障害 |

はき 6-74 神経疾患について正しい組合せはどれか。

1. 脳虚血発作 — 脳圧亢進
2. 脊髄空洞症 — 失語症
3. 進行性麻痺 — 血管けいれん
4. 脳腫瘍 — 乳頭浮腫

はき 7-86 神経疾患と症状との組合せで誤っているのはどれか。

1. パーキンソン病 — 無動
2. 進行性筋ジストロフィー症 — 筋強剛（固縮）
3. 脊髄空洞症 — 感覚解離
4. アテトーゼ — 不随意運動

はき 8-85 感染による中枢神経疾患はどれか。

1. 麻痺性痴呆
2. 脊髄空洞症
3. パーキンソン病
4. 脊髄小脳変性症

はき 11-87 神経疾患とその診断に有用な検査との組合せで正しいのはどれか。

1. アルツハイマー病 — 筋電図検査
2. ギラン・バレー症候群 — 髓液検査
3. 筋萎縮性側索硬化症 — 頭部 CT 検査
4. 脊髄空洞症 — 神経生検硬化症

はき 15-78 「40歳の女性。3か月前から歩行時のふらつき、めまいが出現した。また、2か月前から左の難聴、耳鳴りと左顔面の感覚が鈍いことを自覚している。四肢の筋力低下はない。」最も考えられる疾患は何か。

1. メニエール病
2. 突発性難聴
3. 聴神経腫瘍
4. 脊髄空洞症

(アルツハイマー病/アルツハイマー型老年認知症/脳血管認知症(多発脳梗塞型認知症)/ピック病)

はき 5-87 認知症が認められない疾患はどれか。

1. アルツハイマー病
2. 脳血管障害
3. 正常圧水頭症
4. **神経症**

はき 7-87 錐体外路系疾患はどれか。

1. 筋萎縮性側索硬化症
2. 重症筋無力症
3. **舞踏病**
4. アルツハイマー病

はき 8-87 認知症が出現しない疾患はどれか。

1. **小脳橋角部腫瘍**
2. ハンチントン舞踏病
3. アルツハイマー病
4. ウイルソン病

はき 11-87 神経疾患とその診断に有用な検査との組合せで正しいのはどれか。

| | |
|----------------------|------------|
| 1. アルツハイマー病 | — 筋電図検査 |
| 2. ギラン・バレー症候群 | — 髄液検査 |
| 3. 筋萎縮性側索硬化症 | — 頭部 CT 検査 |
| 4. 脊髄空洞症 | — 神経生検硬化症 |

はき 12-87 伝染力のある痴呆性疾患はどれか。

1. ビンスワングル病
2. ピック病
3. **クロイツフェルト・ヤコブ病**
4. 正常圧水頭症

はき 17-79 「69歳の女性。10年前から高血圧症にて内服加療中。時々右上下肢のしびれを自覚していたが、最近物忘れがひどくなってきた。また、わけもなく泣いたりすることも多い。物忘れが多いわりに判断力は保たれている。」最も考えられるのはどれか。

1. アルツハイマー病
2. **脳血管性認知症**
3. ピック病
4. プリオン病

はき 20-76 アルツハイマー病で適切な記述はどれか。

1. 大脳皮質に老人斑を認める。
2. 病初期からゲルストマン症候群がみられる。
3. 片麻痺がみられる。
4. まだら認知症が特徴的である。

はき 24-55 まだら認知症がよくみられるのはどれか。

1. パーキンソン病
2. アルツハイマー型老年認知症
3. ピック病
4. 脳血管性認知症

はき 27-72 認知症の症状とその原因となる病態の組み合わせで正しいのはどれか。

1. トイレ以外で放尿する ————— 失 行
2. テレビのリモコンが使えない ————— 失 認
3. 「財布がない」と大騒ぎをする ————— 記憶力障害
4. 料理ができない ————— 見当識障害

はき 28-64 次の文で示す症例の病態で正しいのはどれか。

「85歳の女性。左大腿骨頸部骨折の手術を受けた翌日の夜に、ちぐはぐな言動が出現した。」

1. せん妄
2. 認知症
3. うつ病
4. 不安神経症

はき 31-62 アルツハイマー病の症状で正しいのはどれか。

1. まだら認知症
2. 物盗られ妄想
3. はぐらかし対応
4. パーキンソン症状

はき 33-68 病初期から人格障害がよくみられるのはどれか。

1. 脳血管性認知症
2. 前頭側頭型認知症
3. アルツハイマー病
4. レビー小体型認知症

はき 7-87 錐体外路系疾患はどれか。

- 筋萎縮性側索硬化症
- 重症筋無力症
- 舞踏病
- アルツハイマー病

はき 10-81 二次性変形性関節症の原因とならないのはどれか。

- ペルテス病
- 先天性股関節脱臼
- 重症筋無力症
- 血友病

はき 11-68 爆発性発語がみられるのはどれか。

- 重症筋無力症
- 筋萎縮性側索硬化症
- オリーブ橋小脳萎縮症
- パーキンソン病

はき 12-86 疾患と病変部位との組合せで誤っているのはどれか。

- 筋萎縮性側索硬化症 — 脊髄前角
- ポリオ — 脳幹網様体
- 重症筋無力症 — 神経筋接合部
- パーキンソン病 — 中脳黒質

はき 15-69 重症筋無力症について正しい記述はどれか。

- 筋の易疲労性を呈する。
- 男性に多い。
- 血清クレアチンキナーゼが上昇する。
- 遺伝性疾患である。

はき 2-73 進行性筋ジストロフィー症について誤っている記述はどれか。

1. 遺伝性疾患である。
2. デュシェンヌ型は青年期に発病する。
3. 骨格筋の萎縮を生じる。
4. 登はん性起立がみられる。

はき 7-86 神経疾患と症状との組合せで誤っているのはどれか。

1. パーキンソン病 — 無動
2. 進行性筋ジストロフィー症 — 筋強剛（固縮）
3. 脊髄空洞症 — 感覚解離
4. アテトーゼ — 不随意運動

はき 23-62 筋・腱疾患と運動機能検査の組合せで正しいのはどれか。

1. 胸郭出口症候群 ————— ドロップアームサイン
2. 腱板損傷 ————— ヤーガソンテスト
3. 進行性筋ジストロフィー ————— ガワーズサイン
4. 上腕骨外側上顆炎 ————— ファレンテスト

はき 4-82 疾患と症状との組合せで誤っているのはどれか。

1. ウィルソン病 — 羽ばたき振戦
2. 脊髄空洞症 — 感覚解離
3. 筋萎縮性側索硬化症 — 筋力低下
4. パーキンソン病 — 視力障害

はき 5-88 筋萎縮性側索硬化症の症状で誤っているのはどれか。

1. 深部反射の減弱
2. 線維束性攣縮
3. 嘔下障害
4. バビンスキ一反射陽性

はき 6-73 不随意運動のみられない疾患はどれか。

1. 舞踏病
2. ウィルソン病
3. 筋萎縮性側索硬化症
4. アテトーゼ

はき 7-87 錐体外路系疾患はどれか。

- 筋萎縮性側索硬化症
- 重症筋無力症
- 3. 舞踏病**
- アルツハイマー病

はき 8-86 筋萎縮性側索硬化症でみられない症候はどれか。

- 線維束攣縮
- 深部反射亢進
- 筋力低下
- 4. 不随意運動**

はき 12-86 疾患と病変部位との組合せで誤っているのはどれか。

- 筋萎縮性側索硬化症 — 脊髄前角
- 2. ポリオ** — 脳幹網様体
- 重症筋無力症 — 神經筋接合部
- パーキンソン病 — 中脳黒質

はき 13-72 筋萎縮性側索硬化症で最も侵されやすい脳神經核はどれか。

- 動眼神經核
- 三叉神經運動核
- 顔面神經核
- 4. 舌下神經核**

はき 23-58 筋萎縮性側索硬化症でみられるのはどれか。

- 膀胱直腸障害
- 感覺障害
- 3. 嘔下障害**
- 眼球運動障害

はき 29-53 筋萎縮性側索硬化症に特徴的なのはどれか。

- 膀胱直腸障害
- 褥瘡
- 3. 嘔下障害**
- 眼球運動障害

はき 30-53 筋萎縮性側索硬化症によくみられるのはどれか。

- 感覺障害
- 眼球運動障害
- 膀胱直腸障害
- 4. 筋線維束性れん縮**

はき 33-70 筋萎縮性側索硬化症でよくみられるのはどれか。

1. 膀胱直腸障害
2. 眼球運動障害
3. 嘔下障害
4. 褥瘡

臨床医学各論 神経疾患 キーワード：ギランバレー症候群 P. 264

はき 2-76 ギラン・バレー症候群の症状でないのはどれか。

1. 四肢の脱力
2. 片側の顔面麻痺
3. 嘔下障害
4. 呼吸障害

はき 3-80 ギラン・バレー症候群でみられない症状はどれか。

1. 急性発症
2. 四肢脱力
3. 髄液のタンパク細胞解離
4. 振戦

はき 5-69 肺癌と関係ないのはどれか。

1. ギラン・バレー症候群
2. ホルネル症候群
3. 上大静脈症候群
4. 嘎声

はき 6-87 ギラン・バレー症候群で誤っているのはどれか。

1. 意識障害
2. 顔面神経麻痺
3. 感冒様前駆症状
4. 四肢麻痺

はき 7-72 罹患神経と疾患との組合せで正しいのはどれか。

1. 正中神経 — 手根管症候群
2. 視神経 — ギラン・バレー症候群
3. 動眼神経 — ベル麻痺
4. 腓骨神経 — 梨状筋症候群

はき 8-71 ギラン・バレー症候群で誤っているのはどれか。

1. 髄液タンパク減少
2. 四肢脱力
3. 深部反射減弱
4. 顔面神経麻痺

はき 11-87 神経疾患とその診断に有用な検査との組合せで正しいのはどれか。

1. アルツハイマー病 — 筋電図検査
2. ギラン・バレー症候群 — 髄液検査
3. 筋萎縮性側索硬化症 — 頭部 CT 検査
4. 脊髄空洞症 — 神経生検硬化症

はき 15-79 「25歳の男性。1年前から飲酒量が増加し、食事回数は減少した。1か月前から下腿浮腫、息切れ、膝蓋腱反射の消失がみられ、今朝から意識消失もみられるようになった。」この意識障害について最も考えられるのはどれか。

1. ゲルストマン症候群
2. ギランバレー症候群
3. ウエルニッケ脳症
4. ペラグラ

はき 21-82 ギラン・バレー症候群について正しい記述はどれか。

1. 中枢神経障害である。
2. 対称性の四肢脱力がみられる。
3. 髄液検査で細胞数の増加を認める。
4. 自然軽快は少ない。

はき 32-51 ギラン・バレー症候群について正しいのはどれか。

1. 中年女性に多い。
2. 遺伝性疾患である。
3. 骨格筋に病因がある。
4. 先行感染を認めることが多い。

臨床医学各論 神経疾患 キーワード：圧迫性、絞扼性ニューロパチーP. 265

(橈骨神経麻痺/正中神経麻痺/尺骨神経麻痺/総腓骨神経麻痺/脛骨神経麻痺/)

はき 18-66 小児期の上腕骨外顆骨折後、成人になって起こる神経障害はどれか。

1. 腋窩神経麻痺
2. 橈骨神経麻痺
3. 正中神経麻痺
4. 尺骨神経麻痺

はき 21-76 フローマン徵候がみられるのはどれか。

1. 正中神経麻痺
2. 腋窩神経麻痺
3. 橈骨神経麻痺
4. 尺骨神経麻痺

はき 22-60 徴候と疾患との組合せで正しいのはどれか。

1. ティネル徵候陽性 ————— 総腓骨神經麻痺
2. ペインフルアーク徵候陽性 ————— 胸郭出口症候群
3. トレンデレンブルグ徵候陽性 ————— 腰椎椎間板ヘルニア
4. アリス徵候陽性 ————— 変形性膝関節症

臨床医学各論 神經疾患 キーワード : 末梢性顔面神經麻痺 (ベル麻痺) P. 268

はき 13-80 星状神經節ブロックの適応でないのはどれか。

1. 末梢性顔面神經麻痺
2. 顔面の帶状疱疹後神經痛
3. 手の反射性交感神經性萎縮症
4. 片側顔面けいれん

はき 19-83 末梢性顔面神經麻痺に有効な神經ブロックはどれか。

1. 顔面神經ブロック
2. 上顎神經ブロック
3. 浅顎神經ブロック
4. 星状神經節ブロック

はき 21-81 末梢性顔面神經麻痺でみられる症状はどれか。

1. 嗅覚障害
2. 対光反射消失
3. 顔面知覚低下
4. 味覚障害

臨床医学各論 神經疾患 キーワード : ラムゼイハント症候群 P. 268

はき 7-73 ラムゼイハント症候群で正しい記述はどれか。

1. 顔面神經麻痺が起こる。
2. 深部反射が亢進する。
3. 呼吸筋麻痺が起こる。
4. 味覚は正常である。

はき 27-56 ラムゼイハント症候群の治療薬はどれか。

1. 免疫抑制薬
2. 抗菌薬
3. 抗ウィルス薬
4. 非ステロイド性抗炎症薬

(三叉神経痛/肋間神経痛/坐骨神経痛/後頭神経痛/)

はき 1-80 正しい組合せはどれか。

- 筋緊張性頭痛 — 顔面神経ブロック
- 三叉神経第2枝神経痛 — 下顎神経ブロック
- 三叉神経第1枝帯状疱疹 — 星状神経節ブロック**
- 五十肩 — 肋間神経ブロック

はき 4-83 疾患と症状との組合せで正しいのはどれか。

- 変形性関節症 — 安静時痛
- 坐骨神経痛 — 腱反射亢進
- 脊柱管狭窄症 — 間欠性跛行**
- 胸髄損傷 — 四肢麻痺

はき 4-85 疾患と神経ブロックとの組合せで正しいのはどれか。

- 後頭神経痛 — 硬膜外ブロック
- 坐骨神経痛 — 星状神経節ブロック
- 三叉神経痛 — 顔面神経ブロック
- 五十肩 — 肩甲上神経ブロック**

はき 13-75 下部腰椎椎間板ヘルニアで認めにくい記述はどれか。

- 坐骨神経痛を伴う。
- ギックリ腰ではじまる。
- 大腿内側の知覚障害を認める。**
- 髓核は後側方に脱出する。

はき 13-80 星状神経節ブロックの適応でないのはどれか。

- 末梢性顔面神経麻痺
- 顔面の帯状疱疹後神経痛
- 手の反射性交感神経性萎縮症
- 片側顔面けいれん**

はき 13-86 前駆症状を伴うのはどれか。

- 緊張型頭痛
- 片頭痛**
- 三叉神経痛
- 大後頭神経痛

はき 17-83 特発性三叉神経痛で正しい記述はどれか。

1. 若年者に多い。
2. 一日中シクシク痛む。
3. 疼痛を誘発する部位がある。
4. 内服薬は無効である。

はき 18-83 硬膜外ブロックがよい適応である神経痛はどれか。

1. 三叉神経痛
2. 舌咽神経痛
3. 後頭神経痛
4. 坐骨神経痛

はき 22-81 特発性三叉神経痛について正しいのはどれか。

1. 若年者に多い。
2. 前駆症状を伴う。
3. 罹患枝は第2枝が多い。
4. 痛みは持続的である。

臨床医学各論 神経疾患 キーワード : 頭痛 P. 272-274

(緊張型頭痛/片頭痛/群発性頭痛)

はき 1-80 正しい組合せはどれか。

1. 筋緊張性頭痛 — 顔面神経ブロック
2. 三叉神経第2枝神経痛 — 下顎神経ブロック
3. 三叉神経第1枝帯状疱疹 — 星状神経節ブロック
4. 五十肩 — 肋間神経ブロック

はき 10-85 更年期障害の症状でないのはどれか。

1. 頭 痛
2. 動 悸
3. 咳 嘸
4. 不 眠

はき 13-86 前駆症状を伴うのはどれか。

1. 緊張型頭痛
2. 片頭痛
3. 三叉神経痛
4. 大後頭神経痛

はき 16-79 「72歳の男性。以前より発作性心房細動を指摘されていた。事務作業中に倒れたが、呼びかけには何とか返答できた。右上下肢は全く動かず、頭痛、嘔吐はなかった。」最も考えられるのはどれか。

1. クモ膜下出血
2. 脳血栓
3. **脳塞栓**
4. 一過性脳虚血発作

はき 16-80 「72歳の男性。以前より発作性心房細動を指摘されていた。事務作業中に倒れたが、呼びかけには何とか返答できた。右上下肢は全く動かず、頭痛、嘔吐はなかった。」入院後3日目から意識レベルは低下し、4日目には半昏睡となった。この原因として最も疑わなければならないのはどれか。

1. 急性心不全
2. **出血性梗塞**
3. 徐脈
4. 脳動脈瘤破裂

はき 19-81 群発頭痛について正しいのはどれか。

1. 女性に多い。
2. ドライアイを伴う。
3. 両側性である。
4. **片頭痛発作時の治療に準じる。**

はき 22-82 片頭痛について正しいのはどれか。

1. 50歳代に多い。
2. **閃輝暗点がみられる。**
3. 痛みは非拍動性である。
4. 入浴が有効である。

はき 23-77 「45歳の男性。高血圧、頻拍発作の精査で受診。血中ナトリウム、カリウム値は正常範囲内であったが、腹部CTにて右副腎部に腫瘍病変を認めた。」本患者によくみられる所見はどれか。

1. **頭痛**
2. 発汗量減少
3. 低血糖
4. 貧血

はき 28-79 「60歳の男性。高血圧にて内服加療中。2日前から38°Cの発熱、昨日から嘔吐と頭部全体の痛みがある。意識レベルはJCSでI-1、血圧は178/90mmHgである。」最も考えられる疾患はどれか。

1. 高血圧性脳症
2. **髄膜炎**
3. 群発頭痛
4. 小脳出血